

品川区議会公明党 会派 報告

品川区議会公明党の活動をご報告いたします

〈平成23年 第1号〉

●発行：品川区議会公明党 幹事長：たけうち忍 ●〒140-8715 品川区広町2-1-36 TEL 03(5742) 6817 FAX 03(3774) 3366 URL <http://www.shinagawa-gikaikomei.org>

東日本大震災 ～品川区の取り組み～

3月11日 午後2時46分

三陸沖を震源とする
マグニチュード9.0の大地震と津波が発生

品川区では震度5強を観測

3月11日 午後2時50分
品川区災害対策本部設置

全職員を対象に緊急配備体制をとり、区内被害状況調査、津波による河川水位警戒、帰宅困難者対策などにあたる。

帰宅困難者対策

総合体育館、きゅりあん等6ヶ所で帰宅困難者（計1,532人）を受け入れた。保育園、小学校、すまいるスクールでも児童を安全に保護者に引き渡すため、翌日まで対応を続けた。



地震による被害状況は、死傷者0人、火災1件であったが、一部で家屋の損傷や道路の隆起なども見られた。また、東京湾でも1.5メートルの津波が観測され、品川区の河川でも水門を閉じ警戒を続けた。

3月15日
災害対策室コールセンターを開設

（※現在、コールセンターは終了しています）

24時間、職員による対応を実施し、1日最大730件の問合せを受けた。

3月16日
災害時の相互援助協定を結ぶ自治体へ支援を開始



岩手県宮古市と福島県富岡町へ、区の備蓄物資や避難場所などを提供。

- 岩手県宮古市への支援
 - ・支援物資（通算トラック16台分）
- 福島県富岡町への支援
 - ・支援物資（避難先へ物資を輸送）
 - ・避難場所（日光林間学園を提供し、5月31日現在78人が入所）
 - ・職員派遣（延べ70人派遣）

区議会公明党は、災害に強いまちづくりを提案・要望しています

区議会公明党は、「安全・安心の品川」をつくるため、災害対策に積極的に取り組んでいます！

防災ラジオの全戸配布



「防災無線が聞こえづらかった」とのお声を受け、従来のケーブルテレビやホームページ、パトロールカーを利用した緊急情報提供以外に、戸別で自動的に防災無線を受信し放送する「防災ラジオ」の配布を要望しています。

「わが家の防災ハンドブック」の改訂と携帯できるハンドブック作成

全戸に配布している「わが家の防災ハンドブック」。今回の教訓を受け、帰宅困難者の対応などをもりこんだ改訂と、外出時にも役に立つミニハンドブックの作成を要望し、区では実現に向けた対応が検討されています。

防災ヘルメットを中学生に配布

平成16年より、小・中学生への防災ヘルメットの配布を訴えてきましたが、あらためて防災ヘルメットの配布を求めました。

今回、6月補正予算案で、区立中学校の全生徒への防災ヘルメットの配布を盛り込み、5,000個分の予算を計上しました。

備蓄物資の拡充

避難所機能の充実や備蓄品の確認・拡充を求めていました。今回、6月補正予算案で、毛布、寝袋、飲料水などの補充、またアレルギー対応食品、高齢者・障がい者用の備蓄品の拡充として、2億8,652万円を計上しました。

放射線を測定

区民の皆さまから要望が大きかった放射線の環境調査。皆さまのご心配を解消できるよう、最大かつ迅速な対応を品川区に要望しました。6月中旬より、学校などのプールの水・グラウンドの土および大気の放射線量の測定を専門業者に委託して実施することを決定しました。また、6月補正予算案で放射線量測定器を2台購入する予定です。

津波・高潮対策の改善

6月補正予算案で対策調査費用が計上されました。また、立会川河口水門の早期設置を要望し、区は検討を進めています。

品川区の取り組み

一般会計

1,378億8,516万円

子ども



◆総合的な待機児童対策

事業予算 8億2,727万円

保育園新規開設・定員拡大、幼保一体施設の開設、保育ママ事業などで待機児童の受け入れを拡大します。

受け入れ人数

538人増

◆ワクチンの接種

事業予算 1億2,394万円

子どもの命をうばう、重い病気を予防するための、ワクチン接種に対し助成を行います。

新

23年度
から実施

小児肺炎球菌ワクチン予防接種の助成

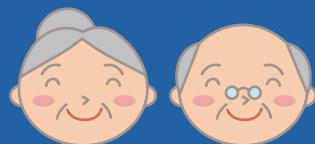
23区で初

予防できる唯一のがん

21年度から実施 ヒブワクチン(インフルエンザ菌b型)予防接種の助成

22年度から実施 子宮頸がんワクチン予防接種の助成

高齢者



◆介護施設を併設した高齢者住宅の整備

事業予算 9億4,860万円

区立型高齢者住宅

90戸 (平成24年度開設)

民間型高齢者住宅

15戸 (平成23年度開設)

◆見守りの充実と孤立死の防止

事業予算 869万円

モデル地区内で、相談拠点の設置や「生活リズムセンサー(安否確認)」を設置するサービスを実施します。孤立死の防止のため、見守りネットワーク(町会・自治会等)への助成と支援を拡充します。

震災



◆住宅・建築物の耐震化を支援

事業予算 1億9,254万円

改修工事、建替えへの助成金を増額します。新たに、補強設計への助成金を支給します。

- 例**
- 改修工事助成金… 木造住宅(旧) 75万円 ⇒(新) 150万円 (上限額)
 - 建替え助成金… 木造住宅(旧) 75万円 ⇒(新) 150万円 (上限額)

その他(主なもの)

中小企業・商店街

- ・中小企業事業資金あつ旋
- ・プレミアム商品券

高齢者

- ・八潮南特別養護老人ホーム等の開設
- ・学校改修型の特養ホームと認知症グループホームの開設準備

文化

- ・平塚小学校跡地を活用した文化・スポーツ施設

教育

- ・小中一貫教育要領特別支援教育編

福祉

- ・重症心身障がい児(者)通所事業準備
- ・自殺予防・うつ病予防対策(ゲートキーパーの養成など)

災害

- ・公園にAED付自動販売機
- ・品川シェルター助成の拡充

新 区議会議員が決まりました

4月24日に行われた区議会議員選挙の結果により、新たな区議会議員が決まりました。また、5月25日に開催された臨時会において、新たな議長・副議長が誕生し、公明党より若林ひろきが副議長に選出されました。

会派別人数

公明 8名	自民 11名	民主・改革ネット 7名	総数 40名
共産 6名	無所属 6名	みんな 2名	

議長 鈴木真澄(自民) 副議長 若林ひろき(公明)

公明党の区議会議員



わかばやし
若林 ひろき

住所: 平塚2-7-13 電話: 3785-4812
メール: h.wakabayashi@shinagawa-komei.org

常任 厚生委員会



やまもと
山元 けい子

住所: 東大井1-2-13 電話: 3472-5086
メール: k.yamamoto@shinagawa-komei.org

常任 区民委員会

特別 行財政改革特別委員会



たかの こ
こんの 孝子

住所: 大井6-13-1-212 電話: 3773-7507
メール: t.konno@shinagawa-komei.org

常任 総務委員会(副委員長)

特別 震災対策特別委員会



ひろお
あくつ 広王

住所: 南品川5-16-50-210 電話: 3471-5869
メール: h.akutsu@shinagawa-komei.org

常任 文教委員会

特別 行財政改革特別委員会



たけうち 忍

住所: 豊町3-7-6-201 電話: 3788-2069
メール: s.takeuchi@shinagawa-komei.org

常任 建設委員会

特別 行財政改革特別委員会(委員長)



あさの 浅野 ひろゆき

住所: 平塚3-9-17 電話: 3787-7319
メール: h.asano@shinagawa-komei.org

常任 文教委員会(委員長)



つかもと 塚本 よしひろ

住所: 西品川2-24-21 電話: 3492-2590
メール: y.tsukamoto@shinagawa-komei.org

常任 総務委員会

特別 震災対策特別委員会



つる 伸一郎

住所: 小山台1-15-10 電話: 3716-8422
メール: s.tsuru@shinagawa-komei.org

常任 厚生委員会

shinagawa komei

(毎月1日・15日発行)

『しんぶん』
配っています!!



区政と区議会の活動をお知らせする新聞を毎月1日・15日で発行し、駅前などで配布しています。皆さまのお役に立つ新聞を目指してまいります。ご意見・ご感想など、お気軽にお声がけ下さい。

皆さまの声をお聞かせください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03(5742)6817 FAX 03(3774)3366 メール info@shinagawa-komei.org